

第38回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成25年10月28日(月) 午後4時00分～午後5時30分
開催場所	滝川市役所3階 301会議室
出席状況	【委員】 出席：石川委員長、伊藤副委員長、岩本委員、樫原委員、中村委員、水戸委員、山田委員 欠席：横島委員、春田委員、藤本委員 【事務局】 市民生活部 石川参事 〃 暮らし支援課 配野課長、原田副主幹、大橋主査、畠山主事
議事内容	1. 開会 2. 協議 (1) 年次報告書の修正及び公表について 前回会議において訂正意見のあった箇所の修正を行い「資料1」に基づき説明を行った。 これに対する各委員からの意見等は次のとおり。 委員) 創エネ・省エネ物語についての「図1 市役所で消費される電力について」ということで、「平成24年度滝川市内一般家庭の平均電力使用量について」とあるが、正確には「北海道全域の消費電力量」となるので、公表を行う際は滝川市内を削除いただきたい。 事務局) 修正する。 (2) 平成24年度までの取組状況に対する評価について 平成24年度までの取組状況に対する評価について、資料2に基づき説明を行った。 これに対する各委員会からの意見等は次のとおり。 【資料2-1についての意見】 委員) 評価シートの右から二番目に記載がある「左の説明コメント」という欄について、これは、環境市民委員会としての説明コメントなのか、それとも、滝川市としての説明コメントなのかどちらか知りたい。 事務局) この項目についてはあくまでの滝川市においての説明コメントとして記載を行っており、現段階で表現の変更等は可能となるため、意見等あればお願いしたい。 委員) リサイクル推進委員を対象とした研修会や意見交換会を行うということであるが、具体的な日程について教えてほしい。 事務局) 各町内会長を通じて連絡及び推進員に案内を直接送付しており、11月11日(月)の15時30分からと18時30分の二部に分けて説明会を開催する。 委員) 雑紙の回収について町内会で個別に回収してもらう際は、業者によって収集の扱い方が変わっているが、市でも来年行う場合は、そうした業者の情報収集を含めていくようにした方が良いのではないかと。 事務局) 検討する。 委員) 滝川市だけではなく、札幌市でごみの分別が変わった際にも相当もめたと聞い

ている。最初は収集できないようなごみがたくさん出してしまっていたようだが、現在では、札幌に居住している母親が、滝川に遊びに来た時も可燃ごみとプラスチックを分別してしまうくらいに浸透（滝川市では両方とも燃やせるごみとして収集している）している。滝川市においても、時間をかければ新しい制度でもしっかりと浸透するのではないかと考えているため、情報の周知に努めてほしい。

事務局) リサイクル推進員の研修会を開催した以降にそれぞれの地域において、ごみ処理手数料の改定と分別の一部見直しに対する説明会を開催するほか、今後も周知に努めていきたい。

【資料2-2についての意見】

委員) 流2「地域省エネルギーと温暖化対策の普及推進」の「省エネを設備や技術からアプローチする」の説明コメントについてですが、その文言の一部修正として、「北海道電力より計画停電の要請を受け」と記載されているが、「北海道電力より節電の要請を受け」に訂正してほしい。

事務局) 訂正する。

【資料2-3についての意見】

委員) 地産地消認定制度について、なにをもって34店舗と記載しているのか。

事務局) 地産地消認定協議会で審査し、認定を受けたものが31から34に増加したことを評価シートへ記載している。なお、認定を受けた店舗については地産地消認定MAPというパンフレット等で周知している。

委員) 滝川遊学会事業における自然体験とそらぶちキッズキャンプ実現化支援については、「これまでの取組及び今後の実施予定の取組」欄を見ると平成23年度で終了となっているが、この代替の取り組みは何か考えているのか。

事務局) そらぶちキッズキャンプ実現化支援のほか、当初計画を予定しておりましたが、森のかがく活動センターの場の提供につきましても昨年度をもちまして閉館となりましたので、今後につきましては、まち・川づくりサポートセンターや江部乙丘陵地ファンクラブなどの取り組み支援や共同で事業を行うなど、そういった自然体験活動の推進について努めていきたいと考えております。

委員) まち・川づくりサポートセンターへの活動推進支援とあるが、元々あった水槽などの設備等がなくなるなど、活動自体が衰退しているように感じられるが、これ以降どういった支援を行っていくのか。

委員長) 常設していたチョウザメなどの水槽については維持費等がかかるため撤去したが、館内ガイドや体験学習などは引き続き活動を行っている。また、生物展示については小学生や幼稚園などの団体が館内案内等を行う際に、実際にラウネ川や石狩川から生物を取ってきて観察してもらうなどで対応している。

委員) まち・川づくりサポートセンターは、以前より自然体験活動を行う指導者の育成をしていると最近知った。こうした、市内団体の取り組みを市民の方はほとんど知らないと思う。たきかわおもしろ食育塾の取り組みに関しても、報道機関に取り上げられて初めて一般の方に知ってもらえるような形になっているので、支援ということであれば、まち・川づくりサポートセンターだけでなく、江部乙丘陵地ファンクラブやたきかわ環境フォーラムなどの他団体の取り組みについてもっと周知に努めれば、うまく回っていくのではないかと考えて

いる。

事務局) まち・川づくりサポートセンターは川下りやかまくら作りなど小学生を対象とした自然体験型活動を行っているほか、川の指導者の育成、植樹活動、ごみ拾いなどの活動を行っている。環境に係る取り組みを行う他団体についても周知や情報提供に努めていきたいと考えているが、平成23年度に運用を開始した「たきかわエコネット」を活用していきたい。

【資料2－4についての意見】

委員) 「たきかわエコネット」のホームページ(以下、HPという。)だけではなく、滝川市の各所管のHPは分かりにくい位置にあり、目的にたどり着くまでに時間がかかる。「たきかわエコネット」のHPについても同様に分かりにくい位置にあるので、市役所のトップページに載せるわけにはいかないのか。

事務局) トップページに載せることは「たきかわエコネット」を立ち上げる際に、所管と協議をした結果難しいとのことだったが、例えば、不用品データバンクやフリーマーケット情報交流事業の情報を併せて「たきかわエコネット」から発信することができれば、滝川市のトップページにある新着情報の欄に常に掲載されるのではないかと考えている。

「たきかわエコネット」の運用方法については、次回の委員会までにHPの変更点等、今後の取り組み方針を提示できればと考えている。

委員) 評価シートの「これまでの取組及び今後の実施予定の取組」欄に、「たきかわエコネット」の今後の取り組み方針を記載した方が良いのではないか。

事務局) 記載する。

3. その他

(1) 特定地域再生計画についての補足説明

前回の会議で行った特定地域再生計画についての補足説明を行った。

これに対する各委員会からの意見等は次のとおり。

委員) 前回、特定地域再生計画についてもめた経緯もあるため、今回欠席したほか3名への周知は別途行ったほうが良いのではないか。

事務局) 今回欠席された委員の方へは、開催結果が完成次第、直接説明に伺う。

(2) 特定地域再生計画についての補足説明

事務局より、次回開催予定日等について説明を行った。

4. 閉会